

看 護 職 員 募 集 案 内

Murayama Medical Center



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センター



Welcome to Murayama Medical Center!

第一歩を私たちと一緒にはじめませんか？
私たちの看護を紹介します。

やりたい
看護が
ここには
あります！



「骨・運動器疾患看護」 「リハビリテーション看護」を 極めます

先進医療を推進する周術期看護や、最新のエビデンスに基づいた脳卒中リハビリテーション看護を提供する中で、実践的スキルを養うことができます。その経験をもとに、運動器看護学会、回復期リハビリテーション病棟協会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会などの学会認定士を取得して、さらに活躍の場が広がります。

病棟
紹介

第5病棟(一般整形外科)

腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、頸椎性脊髄症、側弯症など脊椎疾患を専門とする病棟です。術前の脊椎造影検査入院から手術入院まで一貫して関わりをもつことが多く、術後はコルセットの着脱方法や、装着中の注意点など退院後の生活を考えた指導を行います。カンファレンスを通して、医師との連携を密に図り、患者さんの病態の理解を深め、看護の質の向上に努めています。

病棟
紹介

HCU

術後の集中管理を必要とする患者さんを受け入れ、院内の急変対応では中心となって活動できるよう、自己研鑽に努める向上心があるスタッフが多くいます。一人の患者さんとかかわる時間は少ないですが、患者さんの病状に合わせた安心・安全な看護を提供することを目指しています。

看護部長
メッセージ

当院は骨・運動器疾患や脊髄損傷の分野において高度専門医療を担っています。さらに、社会復帰を見据えた地域包括ケアや回復期リハビリテーションにも力を入れ、急性期から回復期、在宅復帰まで切れ目のない医療を提供しています。
この一連の診療の中で、患者さんが「自分らしい生活」

病棟
紹介

第4病棟(一般整形外科)

脊椎疾患、膝関節疾患・股関節疾患の手術を目的とした患者さんが多い病棟です。人工関節置換術を実施した患者は、脱臼に注意が必要です。そのため、術後の日常生活援助・禁忌肢位の指導等を行っています。また、退院後の生活に不安のある方は、リハビリテーションを継続し、在宅への環境調整を行えるように地域包括ケア病棟と連携しています。

病棟
紹介

第6病棟(混合病棟)

整形外科と外科・内科の混合病棟です。整形外科では頸椎・腰椎疾患、外科では癌の手術や化学療法、上下部内視鏡、嚥下障害のある患者さんの胃ろう増設などが多い病棟です。急性期から終末期まで様々な病態の患者さんがご入院されます。そのため、病棟では退院後をイメージした指導やリハビリテーションを心がけ、ミニ勉強会や多職種カンファレンス、OJTにも力を入れています。



チーム医療による 「地域包括ケア」を実践します

当センターには、地域包括ケア病棟があります。急性期治療を経過した患者さんとその家族が、不安なく自宅へ帰ることができるように看護師が中心となって、医師、理学療法士・作業療法士・言語療法士・地域のケアマネージャーなどと連携を図り、在宅復帰サポートを行います。スムーズで安心な退院調整を行う看護の力が身につきます。

病棟
紹介

第1病棟 (回復期リハビリテーション病棟)

脳血管疾患や大腿骨骨折、廃用性症候群がある患者さんに対して集中的なリハビリテーションを実施しています。生活動作介助や精神的ケアを行いながらADL能力の改善を図ります。多くの専門職種でチームを組みカンファレンスを行い、それぞれが役割を分担し協力し合って、心身ともに回復した状態でご自宅や社会へ戻れるように患者さんを支援しています。

病棟
紹介

第2病棟 (脊そんセンター)

主に頸髄損傷者、脊髄損傷者が多く、看護師、医師、理学・作業療法士、退院調整看護師、MSW等の多職種で連携をとります。また、受け持ち看護師が、患者と一緒に退院に向けて長期間かわります。そのため、お互いの信頼関係が深まり、患者さんが退院する時には喜びとやりがいを強く感じられます。

病棟
紹介

第3病棟 (地域包括ケア病棟)

一般病棟で治療した患者さんの中には、退院後の生活に不安がある等の理由で、在宅復帰支援を必要とする方がいます。こうした方々が在宅療養までの間、医療や支援を受ける事が出来る病棟が地域包括ケア病棟です。また、すでに在宅療養を行っている患者さんの緊急入院の受け入れをする病棟としても機能しています。



あなたの個性を尊重して 豊かな人間性を育みます

個々の能力に合わせて、段階的に専門的な知識や看護実践能力を身につけていける教育プログラムがあり、プリセプターや教育担当者を中心として丁寧に指導・サポートしています。働きやすい環境で、患者さんに関わり、あたたかく優しい心をはぐくみ、看護師として成長することが出来ます。

病棟
紹介

地域医療連携室

地域医療連携室では前方・後方連携の推進や広報活動、医療相談、セカンドオピニオン等の機能を充実させ、医療機関・介護施設をはじめ、行政や福祉に係る多くの施設をつなぐ役割を担っています。また院内では組織横断的部署として、多職種とチームを組み患者さんと地域の暮らしをつなぐサポートをします。

病棟
紹介

外来

外来部門は、整形外科・外科・内科・リハビリ科・歯科・専門外来(側弯症外来・骨粗鬆症外来・リウマチ外来)があります。骨粗鬆症外来では、骨粗鬆症マネージャーが治療のサポートや予防・指導などを行い、質の高い看護を提供しています。入院支援室では、手術前のオリエンテーションのみでなく、手術に対する不安の軽減や退院後の生活を見据えた関わりを行い、病棟と連携を図り、患者さんが安心して入院から退院まで過ごせるよう支援しています。「手術」を受ける患者さんには、誤嚥性肺炎・肺炎の予防など術後の合併症予防のため歯科受診を勧めています。

- 理念 患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。
- 看護部理念 私たちは国立病院機構村山医療センターの理念に則り、専門性を発揮した看護を提供します。

- 看護部基本方針
- 私たちは、患者さんの信条、人格、生活、権利を尊重し、意志決定への支援および自立への支援を行います。
- 私たちは、患者さんに満足される安全で安心な看護を提供します。
- 私たちは、豊かな人間性と高度な専門的知識・技術を持ち的確に判断し実践できる看護職員を育成します。
- 私たちは、チーム医療の一員として他部門と協働し病院運営に積極的に参画します。
- 私たちは、看護活動をおとして地域に貢献します。

- 病院概要 開設年月 1941(昭和16)年10月
病 床 数 303床
職 員 数 354名(R8年4月)
診療科目 整形外科・外科・内科・リハビリテーション科・歯科
専門外来 側弯症外来・骨粗鬆症外来・リウマチ外来
そ の 他 東京都地域リハビリテーション支援センター、東京都高次脳機能障害支援普及事業所

- 看護部概要 看護職員数 195名(男性看護師28名)
看護方式 固定チームナースィング
看護配置 10:1(一般病棟)
勤務体制 二交替

看護部長 山口 京子



新人看護師1年間のあゆみ

就職しても
学習は大切！

配属部署の教育

夜勤導入シート

日勤マンツーマン指導

4月

集合研修

- 新採用者職員研修
- 看護実践講座
バイタルサイン
移乗、輸液ポンプ
一次救命処置
など...

5月

- 看護実践講座
採血、吸引など

6月

- 女性の膀胱留置
カテーテル挿入
導尿

7月

- 倫理研修

8月

夜間トレーニング開始

リフレッシュ休暇!!

技術チェックリスト6ヶ月

導尿



10月

- 半年の振り返り
- 多重課題

9月

- 記録研修
(看護必要度)
- 急変時対応



倫理研修

11月

- 記録研修
(看護記録の標準化、効率化)
- 静脈留置針



静脈留置針

12月

技術チェックリスト12ヶ月

1月

- 発表会
(プロセスレコード)
- 記録研修
(看護診断の理解)

2月

3月

- 1年間のまとめ



研修で日々の
看護を振り
返っています。



新人看護師は胸に
ハッピークローバーを
付けています。

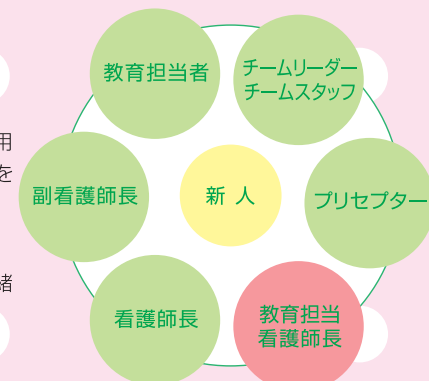
新人看護師をサポート

看護教育担当師長

「みんなで新人を育てよう!」をモットーに、院内の教育の企画を考えています。新採用者皆さんは、オリエンテーションや、看護実践講座を受けてもらい、色々な看護技術を習得します。練習を繰り返し、所属部署で実践しています。

教育担当看護師

病棟に所属せず、新人が職場環境に慣れるよう、良き相談相手として、また時には一緒にケアに入り、新人指導を行っています。各種研修の準備等も行います。



新人看護師の1日

日勤



おはようございます!
敷地内に寮があるので、
通勤は徒歩5分以内です!

8:30 日勤業務開始



まずは情報収集!

9:00 夜勤看護師から引き継ぎ



9:30 検 温



受け持ち患者さんの
検温にまわり、
状態の観察をします。

就寝前にトイレ
誘導等も行います。



20:00 巡視・記録

患者さんの名前を
間違えないよう
しっかり確認します!



18:00 配 膳



17:00 日勤看護師から引き継ぎ

まずは情報収集!



16:00 夜勤業務開始

夜勤



10:30 点滴の準備

病棟に仮眠室があります。
ここで仮眠をとります。



0:00 仮眠休憩

14:45 カンファレンス



多職種で情報共有を
行います。

7:00 モーニングケア



おはようございます。
歯磨きのお手伝いをします。

9:15 夜勤業務終了



日勤に引き継ぎをして
終了です!
お疲れ様でした!

困ったら
先輩に相談!



15:30 報 告

夜勤に引き継ぎをして
終了です!
お疲れ様でした!



17:15 日勤業務終了

チーム医療

医療安全対策チーム

看護職がケアの提供において、対象者の安全確保のための安全管理を行うことはその職務です。ケアの提供における安全とは、対象者の療養生活上さらされる危険を回避し、適切な医療の提供を行うことです。

感染防止対策チーム

院内感染防止対策委員会を中心に、院内の感染予防に取り組んでいます。現場における感染対策状況の確認・指導や教育・研修などの活動も行っています。

栄養サポートチーム（NST）

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など多くの職種がチームの一員として連携して、入院患者さんの最良な栄養療法を提供しています。チームで週1回該当患者さんを回診しています。

地域医療連携室

他の医療機関や福祉施設と連携を取りながら、患者さんご家族のニーズに応え、経済的・心理的な問題にも一緒に向き合い、支えています。

褥瘡対策チーム

院内褥瘡発生の予防を目的に活動を行っています。定期的に勉強会を開催したり、他職種チームで週1回、褥瘡のある患者さんの回診を行っています。

メンバーシップ
看護実践
急変時対応

レベルⅡ

- ①根拠に基づいた看護を実践する。
- ②自部署における自分の役割を認識し、部署の目標達成に向けて行動する。



キャリアラダー

国立病院機構の役割を果たすため、看護師として求められる能力を形成するためにACTyナースの各レベルⅠ～Ⅴに挑戦していきます。



基礎看護技術
社会人基礎力
急変時の対応
多重課題

レベルⅠ

- ①看護実践に必要な基本的能力を習得する。
- ②痛みや障害を抱えた患者に寄り添う看護をする。
- ③社会人として行動できる。

スペシャリスト

◎感染管理特定認定看護師

感染管理認定看護師の役割は、患者や面会者、医療従事者など当院に関わる全ての人を感染から守ることです。その役割を担うためにも他部門・他部署と密に連携して、感染対策に取り組んでいます。委員会や院内ラウンドを通して、スタッフとコミュニケーションをとりながら、実際に現場で実践できるような対策を立案し、スタッフの取り組みが院内感染の低減につながるような指導を心掛けています。



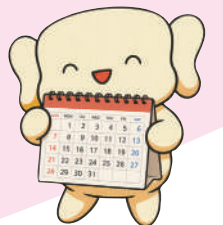
◎皮膚・排泄ケア特定認定看護師

主として脊髄損傷患者さんの褥瘡ケアに携わっております。現在有する創傷の治癒を目指すだけでなく、リハビリテーションや日常生活を送る上で再発・悪化しないための具体的な方法を患者さん・他職種と相談を重ねて日々検討しています。



◎認知症看護特定認定看護師

「認知症＝記憶障害、何もできなくなる」という印象がまだ強い傾向にあります。しかし、認知症の背景疾患によって障害されることは異なります。また、認知症の方ときちんと向き合うと、その人が今もっている力や本当の姿が見えてきます。そのため、支援することで大切にしていることは、認知症の方の生活史の理解を深め、その人のもてる力を見出す・活かすことです。また、認知症の方との関わり方を多職種で共有し、連携をしていくことで、その認知症の方が適切な医療を受けられるよう支援しています。



SWOT分析
合意形成
キャリア支援

レベルⅣ

- ①後輩の学習を支援する。
- ②チームリーダーとしての役割行動がとれる。

リーダーシップ
プリセプター
RCA分析

レベルⅢ

- ①個別性を重視した看護を実践する。
- ②看護実践者として、後輩の支援的役割を果たせる。



年間の活動取り組み

レベルⅤ

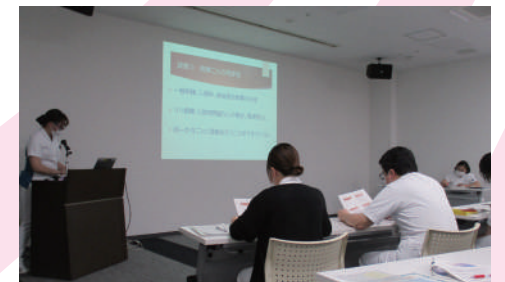
専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり研究的に取り組む。

管理職

幹部看護師等管理研修
副看護師長研修

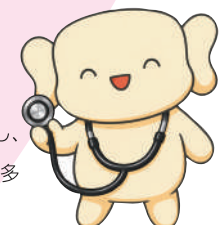
認定看護師 専任看護師

特定認定看護師
養成研修



◎クリティカルケア特定認定看護師

患者さんの状態変化を早期に捉え、急変や重症化を未然に防ぐことを目的にバイタルサインや全身状態を総合的に評価し、異常の兆候を見逃さない体制づくりに取り組んでいます。また、看護師の臨床判断力を高める教育や指導を心がけること、多職種と連携しながら適切に介入することで、患者さんの安全確保と重症化の予防につなげています。



◎手術看護特定認定看護師

周術期における患者の安全確保と、手術侵襲に伴う生体反応や苦痛の最小化を目標としています。術中、患者は自己決定や訴えが不可能な状況に置かれます。術前訪問での情報収集に基づき、患者の価値観や身体状況を深く洞察することで、手術チームの中で「代弁者（アドボケート）」としての倫理的役割を全うし、最善の看護を実践したいと考えています。



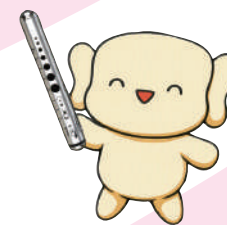
◎糖尿病看護特定認定看護師

糖尿病を持つ患者さんがその人らしく生活できるように、生活背景や病態をアセスメントし、多職種と連携してセルフケア支援を行っています。また、特定行為では医師と協働して、周術期患者やリハビリ患者の「インスリン投与量の調整」を行い、高血糖や低血糖を回避して早期に安心して退院できるように支援しています。



◎脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

回復期リハビリテーション病棟を中心に活動しています。脳卒中を発症し、急性期治療後に後遺症を抱える患者さんに対し、身体機能の回復と生活の再構築を支える役割を担っています。脳卒中は再発することも多いため、疾患の管理を行いながらリハビリテーションが行えるよう支援しています。また、患者さんが日常生活の動作を獲得できるよう日々の看護の中にリハビリテーションを取り入れながら関わっています。回復期病棟は多くの職種が関わり、情報共有を行っているため、認定看護師として多職種との連携を支え、患者さんやご家族が望む生活が送れるよう退院支援も行っています。



アクセス



Event

院内外で、さまざまな活動をしています。

看護の日

ナイチンゲール生誕の日(5月12日)に合わせ、看護の日のイベントを開催しました。新人看護師の「理想の看護師像」と新人看護師に向けた患者さんや先輩看護師からのエールを集めてポスターにしたり、各部署の思いを「一文字漢字」として習字に書き展示しました。病院に訪れる方々へ「看護」の魅力や私たちの思いを伝えました。



骨粗鬆症デーイベント

世界骨粗鬆症デー(世界共通10月20日)は、骨粗鬆症についての啓蒙活動を通して「世界中から骨粗鬆症による骨折をなくす」ことを目標に世界規模でキャンペーンを展開するに骨粗鬆症について啓蒙活動を行っています。



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センター

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1

TEL.042-561-1221(代)

URL <https://murayama.hosp.go.jp>



詳しくは、QRコードかURLをご利用ください。



Instagramにて院内の様子など様々な情報を皆様にお伝えしています。